

# イルカ学級 国語科学習指導案

## 1 単元名 紙しばいをしよう

「ごんぎつね」(東京書籍4年下)

## 2 目標

○物語を読むことに興味を持ち、内容や場面の様子がみんなに分かるように音読することができる。

(国語への関心・意欲・態度)

○場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むことができる。(読むこと)

○言葉には、季節や風景、人の気持ちなどを表す働きがあることに気付くことができる。

(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

## 3 単元について

### (1) 児童について

物語の世界に入り込み、物語の文を暗誦したり、印象的な会話文を何度もつぶやいたりして楽しんでいることが多い。物語で印象に残った場面を絵に書き表すことが得意である。1学期に「ともだちや」を学習したときには、登場人物や気持ちを表す背景を含めた絵を描き表し、場面の順序を考えることができた。さらに、1年生に本の紹介をするために、紹介文を書いたり読み聞かせをしたりすることもできた。

児童の特性として登場人物の気持ちを理解することは苦手だが、言葉の響きを楽しみながら読書を楽しんでいる。また、みんなの前で発表をすることが大好きである。「ごんぎつね」を学習する際にも、場面の様子を理解するために絵を描く活動を取り入れ、発表する場面を作りたい。児童の集中の持続時間を考えて、1単位時間の流れを常に同じようにし学習を進めていきたい。

### (2) 位置づけた言語活動について

「紙しばいを作って読む」ことを言語活動と設定した。

### (3) 今年度の研究と関わる手立て「根拠をもとに考え表現できる子ども」を育てる

手立てⅠ 付けたい力を明確にした言語活動の具体化を図る

#### 【本単元で身につけさせたい力】

○場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読む力

#### 【設定した言語活動及びその特徴】

言語活動：紙しばいを作って発表しよう

特 徴：「紙しばい」には、①様子を表す言葉や文に気をつけて読むこと ②読み取ったことを生かして絵に描くこと ③読み取ったことを生かして音読の仕方を工夫することを位置づける。発表をすることで意欲を持つことができる。

相 手：参観者の方々

目 的：場面の様子を想像して、紙しばいを読むことができる。

児童の思い：紙しばいで、上手に音読してみたい。自分の描いた絵を見てもらいたい。

能 力：・場面の様子について、挿絵と文章の内容を照らし合わせて読む力

・相手に伝わるように音読する力

手立てⅡ 自分の思いや考えをつむぎ合う活動の充実を目指す

紙芝居の絵を描くために本文に戻り様子や人物を描くのに関係のある言葉に着目しながら読み取れるように声がけをしていく。

#### 4 単元の評価基準

○物語を読むことに興味もち、内容や場面の様子が分かるように音読しようとしている。

(国語への関心・意欲・態度)

○場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら、絵にあらわしている。(読むこと)

○言葉には、季節や風景、人の気持ちなどを表す働きがあることに気付いている。

(言語についての知識・理解・態度)

#### 5 単元の指導構想(時間 本時 10/10)

過程	時間	学習活動	具体的評価規準	指導にあたって
見通す	1	○学習の見通しをもつ。 ・参加者の方々に「手作り紙芝居」を読むことを知らせ、準備をしていくことを知らせる。 ・学習の計画を立てる。	<b>関</b> 「紙芝居を先生達の前でよむこと」を楽しみに学習計画を立てることができる。 (計画表・観察)	・参観者が授業を見に来てくれることを伝える。感想をたくさん聞くことを話し、学習の意欲をもたせる。 ・それまで、どんな準備が必要か考えさせる。
確かめる・深める	2	○話の場面ごとの様子をつかむ。 ・音読をしながら、挿絵を並べ、あらすじをつかむ。	<b>読</b> 場面の様子を想像することができる。 (絵、発言、観察)	・挿絵を並べることで、場面をつかみ全体を読み取る。
	3	○場面ごとの様子を読み取る。	<b>読</b> 場面の様子を想像しながら文章を読み、それを絵で表すことができる。	・挿絵と文章を照らし合わせ挿絵に付け加えたいことを考えさせる。
	4	・「どうしてそのように描くのか」「どうしてその人々を描くのか」など読み取りをしながら場面の絵を描く。		
	5	・絵を描く際に注目した文にサイドラインを引く。		
6	・自分なりに本文から読み取ったことを生かして工夫して表紙を絵に描く。			
7	・自分なりに本文から読み取ったことを生かして工夫して表紙を絵に描く。			
8	・自分なりに本文から読み取ったことを生かして工夫して表紙を絵に描く。			
9	○紙芝居を読む練習をする。 ・気に入った絵を選び、なぜそれを選んだか理由を考える。 ・選んだ絵の中で自分なりの読み取りを生かして書いたところをまとめる。 ・選んだ絵の場面の音読練習をする。 ・次時のお願いの仕方を練習する。	<b>関</b> 楽しみながら読む練習をしているか。 <b>読</b> 正しくゆっくり読もうとしているか。	・音読をする際に、読む速さ、声の大きさなどチェック表を見せ意識させる。	
広げる	10本時	○紙芝居発表会をする。 ・自分の気に入った場面を紹介し、選んだ理由、絵で自分なりの読み取りを生かしたところを発表する。 ・紙芝居をする。 ・感想を聞き、お礼を言う。 ・学習の振り返りをする。	<b>読</b> 学習したことを意識して音読しているか。 <b>言</b> 参観者の方に感想を聞き、お礼を言うことができた。	・参観者の先生方に感想を聞き、視覚的に表していくことで、自分の振り返りをする。

6 本時の指導

(1) 目標

・手作り紙芝居「ごんぎつね」を様子がわかるように楽しく発表することができる。


(2) 展開

段階	学 習 活 動	支援 (○)、留意点 (・)、評価 (□)	備考
つ か む 10 分	1 本時の流れを確認する。 ・漢字練習・口の体操ををする。  2 今までの学習を振り返る。 3 本時の学習課題を確認する。  ○紙芝居を発表しよう。	・毎時間取り組み、授業の流れを習慣化する。 ○ホワイトボードで確認する。  ○学習内容の流れも確認する。 ・気持ちが落ち着かないときは、音読の仕方を读ませる。	・ホワイト トボード ・学習計 画表 ・音読の 仕方揭示
学 ぶ ・ 深 め る 22 分	4 参観者の方をお願いをする。  5 紙芝居を発表する。 ・選んだ絵の紹介をする。 ・その場面を音読する。  6 発表について、参観者の方に聞く。	・お願いする言葉を忘れているときは、お願いカードを見せる。  □絵を選んだ理由、工夫したところを発表できたか。 □ゆっくりと読むことができたか。 □場面の様子が分かるように読むことができたか。 ○星型の付箋紙をいいと思う数貼ってもらう。最高は「星3つ」。 ・適当に話を聞いている様子の時は「なんて言われたか」を問い、しっかり聞くように促す。	・星型の 付箋紙  ・星を貼 る羅紗 紙
ま と め3 分	7 単元全体の学習の振り返りを行う。	・学習計画表を用いて振り返りをする。	・学習計 画表

(3) 具体の評価規準

・紙芝居「ごんぎつね」を楽しく発表することができたか。

(4) 板書計画



6	5	4	3	2	1	学習計画表
・	・	・	・	・	・	
・	・	・	・	・	・	
・	・	・	・	・	・	
・	・	・	・	・	・	

四 振り返ろう  
 三 感想を聞こう  
 二 発表をしよう  
 ・選んだ絵の紹介  
 ・発表  
 一 お願いしよう。

○紙芝居を発表しよう。

ごんぎつね

今日の学習  
 1 漢字練習 😊  
 2 口の体操  
 3 ごんぎつね発表会  
 4 振り返り

(5) 配置図

